事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月12日（　16：30　～　18：00　）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	保多盛・中谷・菊川・室永・古屋・佐々木 勝原・山本・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	7人	1人	15人

前回の改善計画
病院や自宅を事前訪問して情報を得るようにし、得た情報は早めに職員に伝達する。 個人ファイル内のアセスメントシート（課題分析のための用紙。個人の情報が記入されている）に、各自が気づいた新しい情報を書き込む。特に思いの把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
事前訪問については、以前登録されていて入院されている利用者様やあらかじめ申し込みがあった利用者様については情報収集や、情報共有が行えた。 アセスメントシートの活用については、登録後に資料者様本人やご家族から得た情報を記入するよう活動したが、ケア記録や、伝達ノートに記入するに留まり、アセスメントシートへの反映は不十分であった。

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2人	5人	3人	5人	15人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		9人	6人		15人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4人	11人			15人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	9人	5人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規の利用者様には、一日も早く新しい環境に慣れ、安心して生活していただけるよう、積極的に声掛けを行っている。新たな要望があれば、随時、事業所長やケアマネ、チームに報告を行い、ニーズに沿えるよう努めた。個々人で得た情報は、伝達ノートで共有しケア記録に残すことで、どの職員が担当になってもブレのないサービスが提供できている。 当面の目標や、一番困っていることを伺い支援するようにし、他利用者様との会話の橋渡し役や信頼関係の構築を心がけている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス付き住宅への入所後すぐに登録になる利用者様に対しては、利用者様の情報や必要なサービスの共有が不十分なまま、サービス開始になってしまうことがあった。利用開始前（開始後1か月以内含む）のミーティングができていない。多媒体での情報共有がおおむねできており、業務の過多もあり、ミーティングのための時間が取れなかった。 ご家族とはあまりお会いする機会がなく、関係づくりまでは出来ていない。ゆっくりと話せる時間がなく、不安などの話はあまり聞かれない。アセスメントシートにADL程度の情報しか記載がないため、ニーズがわかりにくい。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
今後、毎月15日に利用者カンファレンスを開催する。その時に新規利用者様についても取り上げ、入所前後の情報やニーズ、課題などを話し合い情報共有する。 アセスメントシートの様式、サービス提供者会議の様式を変更する。アセスメントシートは利用者様の日々の生活で得た新しい情報を記入できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月12日（　16：30　～　18：00　）
２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	保多盛・中谷・菊川・室永・古屋・佐々木 勝原・山本・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	8人	人	15人

前回の改善計画
利用者にとって、話しやすい職員がいるので、その職員がよく話を傾聴、思いを聴きだし得た情報を記録し、他職員と共有する。利用者の思い、生活に対する目標を把握するよう努める。 ご家族へ利用者の思いを伝え、どうすれば叶えられるかを一緒に考えていく。 必要なサービスを提供できるよう業務を見直し工夫する。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者様にとって、各々話しやすい信頼関係の取れている職員が、思いを伺い、支援につながることが多々あった。 （病状やサービス内容、外出支援、ご家族への思い等、伺え、支援に繋げることができた。） 利用者様の思いを家族に伝えることはあったが、家族の協力が得られないこともあった。 登録利用者様の人数が増え、人員配置や勤務時間の変更等で必要なサービスが提供できるように対応した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		5人	8人	2人	15人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		11人	3人	1人	15人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		3人	11人	1人	15人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		6人	8人	1人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の話を傾聴し、要望やニーズを伺い支援に繋げることができていた。すぐに実現が難しいもの（買い物や外出支援等）は、他の職員に申し送り、掃除訪問サービス時などに買い物支援を行うなど、工夫し、利用者様に満足していただけた。 個別援助計画を居宅サービス計画書にもとづき作成し、目標を把握するように努め、職員全員で共有できている。利用者様の状態の変化によって他職員と話し合い、業務やサービスの見直しを行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
外出支援について、利用者様から多く要望があるが人員不足もあり、すべてが実現できていないのが現状である。利用者様の思いとご家族の思いに相違があるケースもあり、本人の「～したい」ではなく、家族の「～してほしい」になっているプランやサービスもあるのではないかと意見が挙がった。本人様の本当のニーズは何か模索し、それに沿ったサービスを提供することが求められているが、利用者様の本心や本当のニーズがわからない場合も多い。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
人員不足の中でも、できることは何かを考え支援を続けていく。訪問の掃除時間を基本的には30分とし（現在は60分）残りの時間は利用者様のニーズを達成できる時間に使う。 本人様のニーズに合った目標を設定し、ゴールをより明確にすることで、職員間の周知、支援の徹底に繋げていく。 本人様の本当のニーズが聞けるよう信頼関係を築き、必要があればご家族に伝え、ケアプランを見直す等、利用者様とご家族の橋渡し役となる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月12日（　16：30　～　18：00　）
３．　日常生活の支援	メンバー	保多盛・中谷・菊川・室永・古屋・佐々木 勝原・山本・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	8人	6人	1人	15人

前回の改善計画
初期の段階で、自立支援を第一に考え、そのために必要なサービスを見極めていく旨を丁寧に説明し、ご理解いただく。 できないところを適切にサポートするように努める。情報収集、課題分析をしっかり行う。 利用者の思いや訴えの真意をしっかり受け止め、できること、できないことを見極める。
前回の改善計画に対する取組み結果
初期段階で、出来る限り情報収集し、ご利用者様のニーズに対応できるようケアプランの作成、サービスの提供を行ってきた。 利用者様の思いや訴えを聞くという点については、月間目標等を通じても1年間行い、必要なサービスを検討した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1人	11人	3人	15人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2人	11人	2人		15人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7人	8人		15人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3人	11人	1人		15人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		9人	6人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
体調の変化や心身にトラブルがあったときには、看護師にすぐに報告し、山の田内科へ受診するなど、必要な対応ができている。1日2回のミーティングで、情報共有を行い、利用者様に必要な支援を行っている。伝達ノートにも情報を共有し、その場にいない職員にも情報が伝わるように心掛けている。 言葉だけでなく、表情や動作など、非言語にも着目し、本当の思いや体調の変化を探ろうとした。気づいたことは記録に残し共有し、必要に応じて利用者様の思いを傾聴する時間を取った。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方が10個以上はすぐに出てこない。アセスメントが不十分で本人様からの情報だけでは、以前の暮らし方を把握するのが難しい。　新規利用者様、登録利用者様が増え、必要なサービスや思い、訴えを受け止めることが難しくすべての利用者様に必要な支援ができているとは言えない。 その方にとっての、その人らしい暮らしの把握より、ご家族や事業所の都合を重視してしまった。あるいはせざるを得ない状況があった。自立支援のためのサービスであるが、家政婦と思われている方もいらっしゃり、説明が不足していると感じた。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
介護保険を利用して、出来ることとできないことを明確にする。 介護保険制度のサービスは、自立支援のためのサービスであるということを、職員がまず認識し、ご利用者様、ご家族にご理解いただけるよう行動する。又、サービス付き住宅職員とも介護保険制度の認識を共有し、ケアタウン山の田としてブレのないサービスを提供していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月12日（　16：30　～　18：00　）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	保多盛・中谷・菊川・室永・古屋・佐々木 勝原・山本・堺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	8人	2人	15人

前回の改善計画
地域資源とは何かをよく理解し、一人ひとりのニーズと地域資源を結びつけられるようになる。 ボランティアスタッフの力を借りる。ボランティアの方にも、理解を深めていただけるよう働きかける。 運営推進会議メンバーとの協力体制をより強化する。 情報収集に力を入れ、アセスメントシート（課題分析のための用紙。個人の情報が記入されている）に記入していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域資源に対する取り組みは、どうしても第一が日々の生活の支援である以上、ケアタウンから外の地域に目を向ける機会が少なく、ケアタウン山の田で完結してしまうことが多かった。ボランティアは以前から来ていただいている方は引き続き助力してくださった。オレンジカフェにも地域の方が参加してくださり、恒例行事として定着しつつある。 アセスメントシートへの記入は不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		9人	4人	2人	15人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		8人	7人		15人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		7人	6人	2人	15人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3人	9人	3人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人様の望む場所への外出支援（買い物や散髪、文化祭や花見など）を行っている。これまで住んでいた地域や職業など、会話の中から伺い、その方が大切にしてきた人や物事を理解するように努めた。事業所が直接接していない時間も、特にサービス付き住宅に住まわれている方とは接する機会があり、ある程度は、日ごろの過ごし方や様子の把握が出来ている。ご家族への思いを伝えたり、代弁したり互いの関係がより深まるように働きかけを行った。 オレンジカフェの開催で、少しづつではあるが地域の方々と関わる機会ができてきている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の把握や働きかけは難しく、地域の清掃等に参加するに留まっている。ケアタウン山の田で完結してしまうことも多く（買い物、病院、リハビリ、薬局）地域との関係が薄くなってしまいがちであった。 特に、本人様の今の暮らしに必要な地域資源という点では、ニーズの把握や地域資源の把握が不十分であり、利用者様と地域との橋渡し役は難しく感じた。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
まずは、地域資源を把握する。（ボランティア等、どのようなものが地域にあるのか） ケアタウン山の田の2階レストランを利用して、講座の開催などを検討する。 利用者様の声、要望をしっかりと傾聴し、その方に必要な地域資源を紹介できるように行動する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日（　16：30　～　18：00　）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	保多盛・中谷・西村・菊川・白川・古屋・佐々木 勝原・迫・山本・堺・日坂・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	6人	7人	2人	15人

前回の改善計画
地域資源とは何か、さらに、”その方にとっての地域資源”は何かを把握し、活用できるよう働きかける。 ボランティアの受け入れを検討する。 ハード面、人員配置について現状を見直し、工夫改善しながら、改築等必要な箇所は積極的に検討提案する。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域資源とは何か、把握が難しく、何をどの程度活用するのか、また活用の場があるのか理解を深められなかった。 既存のボランティアに加え、オレンジカフェの開催によって少しずつ地域との接点が持てるようになってきている。 利用者の増加に対して、ハード面の見直しを行ったがテーブルや椅子など必要なものが揃わず、時に利用者様に窮屈なサービスを提供してしまっているが、人員配置等でカバーしてきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		6人	7人	2人	15人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		10人	4人	1人	15人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2人	12人	1人		15人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		10人	5人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の都合や体調の変化、気持ちの変化等、情報収集し、通いサービスの振替や泊りサービスの利用等、柔軟に支援を行っている。また、日ごろから体調の変化等、利用者様の変化に気を配り、必要があれば記録に残し、職員間で情報共有ができている。 北部包括支援センターや地域住民の見守りなど、協力いただき、外部の利用者様の支援を行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
業務スケジュールや人員不足、サービス提供スペース等の影響で、急な対応や柔軟な対応ができないことがある。 また、新規利用者様のニーズの対応も既存利用者様との関係上、柔軟にサービス提供できていないことがある。 地域資源については、何かを理解できておらず、ほとんど活用できていないのが現状である。 サービス付き高齢者向け住宅の入居者が多いが、サービス付き住宅職員にカンファレンスや会議に参加してもらう等住宅での暮らしを支えるための協力や情報共有が得られていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
自立支援のためのサービス、という点を再度振り返り、過剰なサービスがあるのではないか、支援計画書を見直し本当に必要なサービスを見極めていく。毎月15日のカンファレンスや職場会議で報告、提案を積極的に行い、小規模多機能らしい柔軟な支援が行えるようにしていく。 今後は、外部居住利用者様の利用日と、泊りサービス受入日を調整し、全ての利用者様が平等に利用できるように支援計画を立てサービスを提供する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日（　16：30　～　18：00　）
６．　連携・協働	メンバー	保多盛・中谷・西村・菊川・白川・古屋・佐々木 勝原・迫・山本・堺・日坂・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	8人	2人	15人

前回の改善計画
グループホームが行っているオレンジカフェを共同開催することで、より多くの地域の方々に案内をし気軽に集える機会を設ける。また、外部開催の認知症カフェに外出支援でででかけ、地域の方々と交流する機会を増やす。 　サ付住宅も地域資源と考え、地域との連携・協働への理解と協力を仰ぐ。 　ボランティアや、小中学生の職場体験等を積極的に受け入れる。
前回の改善計画に対する取組み結果
オレンジカフェについてはグループホームと協力し、隔月開催してきた。ケアタウン山の田に住まれている方や地域の方にお越しいただいた他、地域から数多くボランティアにも来ていただけた。 サービス付き住宅との連携・協働については、話し合う場が持てず、なかなか共通理解ができなかった。 小中学生の職場体験は受け入れ事例がなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		5人	7人	3人	15人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	6人	3人	5人	15人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		11人	1人	3人	15人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5人	5人	5人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域包括支援センターや他病院のワーカーとご利用者様に関する会議を行うなど、その他のサービス機関との連携を行っている。山の田内科とは随時連携を図り、相談や情報提供など行っている。 　運営推進会議では、地域の方の意見をいただいて、会議や事業所運営に活かしている。地域の清掃活動や夏祭り、文化祭などのイベントにも参加し、地域の方にも防災訓練などに参加していただいた。 　オレンジカフェの開催で、直接事業所ではないが、ケアタウン山の田を地域の方に訪ねていただいて認識していただくことができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
訪問看護や福祉用具者との会議は、その都度話を聞いたり情報共有することはあるが、会議を開くのは担当者会議の時に留まっている。また、職員によっては勤務の都合などで、会議や地域イベントに参加する機会が取れなかった。 他職種との会議は必要であると思うが、時間や都合が合わずに開催できていない。 　施設見学や登録申し込みの方が、事業所を訪れることあはあったが、その他の地域住民が事業所を訪れることは殆どなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
サービス付き住宅職員との連携協働について、レストラン業務等で気づきがあれば、事業所長を通して伝える。 サービス付き住宅職員やリハビリ職員にも情報を発信し、会議への参加を依頼する。 ボランティアや職場体験など、拠点長を通じて地域の学校などに依頼する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日（　16：30　～　18：00　）
７．　運営	メンバー	保多盛・中谷・西村・菊川・白川・古屋・佐々木 勝原・迫・山本・堺・日坂・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	7人	3人	15人

前回の改善計画
地域行事（清掃活動等）に、職員皆が積極的に参加し、地域に関わっていく。 ２階にあるレストランを地域に開放する等、活用の仕方を検討する。 各会議の際は、主体的に臨み、積極的に意見を発言する。また、その意見が尊重されるような会議にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域行事には、勤務等調整し、全職員とはいかなかったが、昨年参加できない職員も参加することができた。 レストランの活用は、小規模多機能が関わった中ではオレンジカフェやカラオケ大会に向けての練習など活用できた。 会議への参加については、発言や参加形式などまだまだ改善の余地がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		9人	5人	1人	15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		7人	5人	3人	15人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8人	4人	3人	15人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		6人	6人	3人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
玄関に苦情処理箱を設置し、いつでも意見を聞けるようにしている。利用者、家族、地域の方の意見を傾聴し、運営に反映することができていると思う。運営推進会議でも話し合い、意見を伺い、地域と協同した取り組みを行っている。 事業所のあり方について、職員として意見を出し、会議等で解決に向け話し合いが行われている。 防災訓練、避難訓練等は見るだけではなく参加型になりつつある。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議には、（人員不足の都合もあり）なかなか職員が出席できない。出席しても、意見等発言できない雰囲気であり、お茶出しなどのオブザーバーとして参加している状態である。 2階レストランの利用でカラオケ大会など新しい催しが開催されたが、継続的、計画的でなくよりよいサービスへと改善の余地がある。 収益を上げることとサービスの質の維持、地域で困っている方の受け入れなど、様々な角度から総合的に見て分析、判断し、より良い運営を行うことができない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
運営推進会議については、オブザーバーとしてではなく、きちんとした形で参加し、意見が発言できるようにする。 クレームや要望等記入できる用紙を作成し、サービス付き住宅にも提出し情報共有した上で、対策について返答をいただく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年11月9日（　16：30　～　18：00　）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	保多盛・西村・中谷・古屋・室永・佐々木 日坂・山本・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	12人	人	1人	15人

前回の改善計画

職場勉強会は、全職員が参加できるように配慮する。外部研修の案内を今まで以上に行い、各自の目標に沿った研修を見つけやすいよう工夫する。自分の目標に沿った研修を探す意識を持つ。
市に質問票を送り、地域連絡会が具体的にどのような会議を指しているのかを把握、参加できるようにする。
インシデントについては、気づいた人が声掛けし、どこがどのように危険なのか意識づけができるようにすることで、職員全員の意識統一を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

勉強会については、開催担当者が必要な外部研修に参加し、持ち帰った知識を共有する等、円滑でタイムリーな勉強会を実施することができた。外部研修にも各職員参加している。
市への問い合わせで地域連絡会を小規模連絡協議会と捉えて差し支えない旨確認し、参加できるようになった。
インシデントについては、用紙の記入やカンファレンスを通じて危険をチームで共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5人	8人	1人	1人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	10人	2人		15人
③	地域連絡会に参加していますか	2人	1人	6人	6人	15人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	3人	9人	3人		15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

研修については、職員間で決まりを作り、月に一度、職場内研修会を行っている。外部研修については、案内を回覧し、個々人の必要な研修に参加している。又、研修参加後にはレポートを提出し、他職員にも情報を伝え、共有できている。
リスクマネジメントについて、インシデントレポートを活用し、危険と思われる場面に遭遇した職員は、他職員にも情報を共有することができている。
スキルアップとして、防災士や赤十字救急法救急員の資格を取得するなど、資格取得にも努めている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

地域連絡会には特定職員しか参加できておらず、全職員が活動内容等を把握できていない状況であった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

地域連絡会を市に問い合わせたところ、小規模連絡協議会を地域連絡会として捉えて差し支えないとの回答であった。11月の開催では2名の職員が参加できており、来年度もケアタウン山の田で開催されるため、職員の配置を工夫し、積極的に参加出来るよう配慮していく。
地域や自治会などの会議には参加できていないため、来年度は参加できるよう目を向けていく。
インシデントレポートについては引き続き、積極的に事例を挙げ、職員で共有し、危険を回避できるよう活動していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年11月9日（　16：30　～　18：00　）
９．　人権・プライバシー	メンバー	保多盛・西村・中谷・古屋・室永・佐々木 日坂・山本・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	12人	2人	人	15人

前回の改善計画
言葉で利用者の行動を制限してしまう場面では、必ずその理由と待ち時間の目安を伝えるようにする。 トイレ使用時は、車いすをたたみ、トイレ内に置く。利用者の状態は常に見守り、必要に応じ家具配置の工夫をする。 通信などへの写真掲載は、契約時ご家族に同意いただいているが、利用者本人にもわかりやすい説明をする。 申し送りは、利用者の状態や状況を見極めその時々にあった場所で、声の大きさに配慮して行う。 個人情報保護については、再度全職員に周知徹底し意識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果
言葉での行動の制限は、出来る限り理由や待ち時間等を添え利用者様に伝えるよう努力してきた。トイレ使用時のプライバシー配慮のため車いすはトイレ内に置き、外から見られないように配慮した。 　申し送り、個人情報保護については出来ていないことも多く、来年度の目標として引き続き継続とした。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5人	9人	1人		15人
②	虐待は行われていない	9人	6人			15人
③	プライバシーが守られている	2人	7人	6人		15人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	7人	2人	2人	15人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2人	10人	3人		15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束については、毎年、勉強会を開催し、虐待やプライバシーの侵害と合わせて、再認識、意識づけを行っている。動きを制限するような言動は行わず、スピーチロックについても、ただ「待って」というのではなく理由を伝え、納得していただいている。また、利用者様の思いに寄り添うように努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
不意に動かれる、車いすの利用者様に対して、職員の見守りの手が足りてない時に、テーブルにつけてしまったことがある。（身体拘束にあたる） 　見守りの観点から、利用者様の希望に反して、居室のドアを少し開けざるを得ない状況があり、プライバシーが守られないことがあった。また、ミーティング時など、どうしてもリビングで他利用者様の情報を伝えなければならないことがあり配慮に欠けていた。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
常時見守りが必要な利用者様が複数いらっしゃり、職員がフロアに不足している状況は発生する。居室内でもベッドから起き上がるなど、危険があり、安全を取るかプライバシー保護を取るかはその時々で考え行動する。他利用者様との兼合いもあり、どうしてもスピーチロック等見られる場面があるが安全面や優先順位を考え、職員本位にならないよう利用者様本位の支援を心掛けていく。 　個人情報について、申し送りやミーティングなどリビングで行わざるを得ないときには、イニシャルを使い伝えるなど配慮を行う。PC画面やテーブル上などに個人情報が開いたままの状態をなくすよう各職員が気を配り意識する。 　成年後見人制度について、知らない利用者様、ご家族が多いと思われるため、制度についてのパンフレットを配布する。	